

東広島市 スポーツツーリズム 推進方針



平成 30 (2018) 年 2 月
東広島市教育委員会

目次

第1章 スポーツツーリズム推進方針の概要	1
1. 方針策定の目的	1
2. 方針の位置づけ	2
3. 方針策定に向けた検討組織	2
4. 方針策定の背景	3
第2章 本市におけるスポーツツーリズムに関する現状と課題	8
1. スポーツに関する現状	8
2. 観光に関する現状	13
3. スポーツツーリズムに関する意識の状況	18
4. スポーツツーリズム推進にあたっての課題	23
第3章 スポーツツーリズム推進戦略	25
1. 本市が目指すスポーツツーリズムの姿	25
2. スポーツツーリズム推進における3本柱	27
3. 実現に向けての事業展開イメージ	30
第4章 スポーツツーリズム推進にあたってのロードマップ	34
1. 今後5年のロードマップ	34
第5章 計画の推進に向けての連携体制	35
1. 協力団体との連携イメージ	35

第1章 スポーツツーリズム推進方針の概要

1. 方針策定の目的

東広島市（以下、原則として「本市」と記述する。）では、平成 29（2017）年 3 月に「スポーツで地域を創るまち東広島」を基本理念に掲げたスポーツ推進計画を策定し、スポーツによる交流の推進に向けて、「スポーツツーリズムの促進」を主要施策に位置づけました。

スポーツツーリズムとは、地域の有するスポーツ資源（「観るスポーツ」と「するスポーツ」）とツーリズム（観光）資源を融合させ、交流人口の拡大、地域経済への波及効果、地域の知名度向上、地域住民のスポーツ活動の活発化を目指す取り組みです。

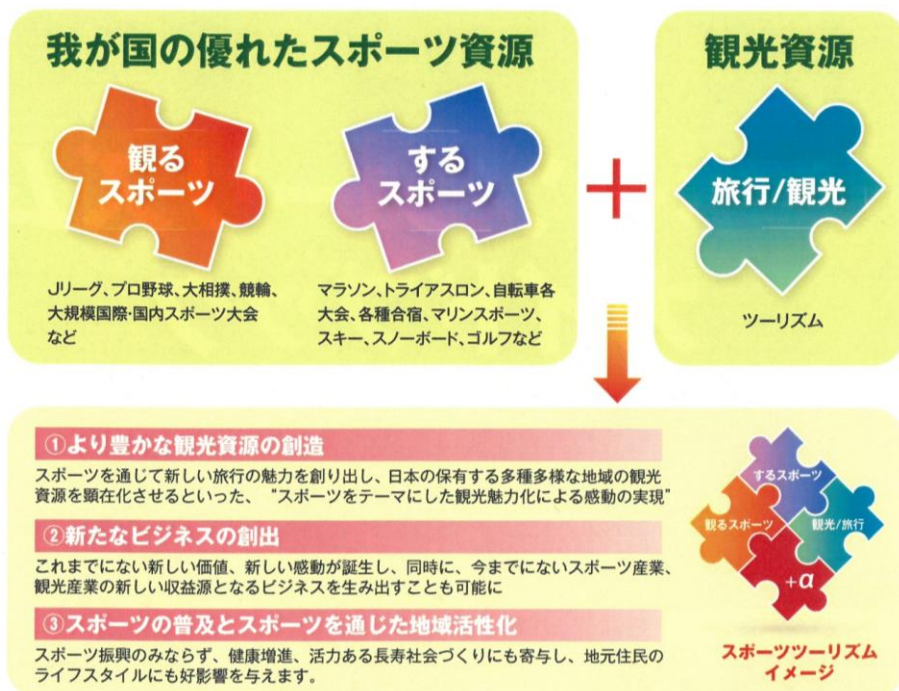
地方分権の進展とともに、自治体間競争が激化する中、独自の地域活性化を図る観点からスポーツツーリズムの推進に取り組む自治体が増え、スポーツイベントの開催や大会・合宿誘致、推進団体の設立等、自治体による様々な活動が展開されるようになってきています。

こうした状況の中、スポーツに期待される役割が、「スポーツ振興」から「スポーツによる地方創生（スポーツを通じた地域・経済の活性化）」へと拡大してきています。

スポーツツーリズムの推進に当たっては、その自治体の有する地域資源の特長を効果的に活用し、他の自治体との差別化を図ることが重要となってきています。

本市では、本市特有の地域資源を活かし、スポーツを通じた誘客による交流人口の拡大や経済波及効果の拡大等を図ることを目的とし、スポーツツーリズムの推進方針を策定することとしました。

▼スポーツツーリズムとは



資料：（一社）日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）「スポーツツーリズムガイドブック」

2. 方針の位置づけ

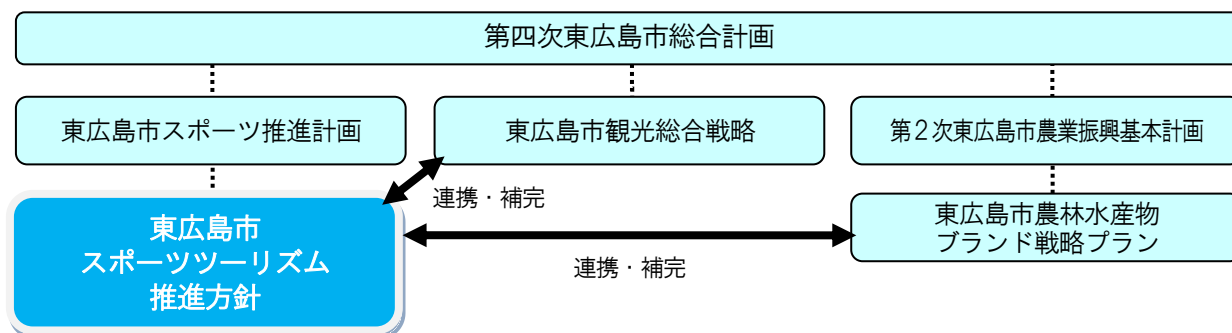
(1) 上位計画

本方針は、国や県が策定しているスポーツや観光関連の諸計画が示す方向性を踏まえ、「第四次東広島市総合計画」（平成 29（2017）年 2 月に後期基本計画策定）及び、「東広島市スポーツ推進計画」（平成 29（2017）年 3 月策定）を上位計画とします。

(2) 関連計画

本市では、「東広島市観光総合戦略」及び「東広島市農林水産物ブランド戦略プラン」の策定に取り組んでおり、本方針はこうした戦略を補完するとともに連携を図るものです。

■方針の位置づけ



3. 方針策定に向けた検討組織

(1) 東広島市スポーツツーリズム推進会議

本方針の策定においては、スポーツを軸に観光、福祉、まちづくりと、様々な視点を取り入れた方針とするため、スポーツ振興課、企画課、健康増進課、農林水産課、商業観光課で構成する当該会議を設け検討を進めました。

(2) 開催状況

開催日	参加関係課	内容
平成 29（2017）年 11 月 2 日	スポーツ振興課・企画課・健康増進課・農林水産課・商業観光課	ワークショップ
平成 30（2018）年 1 月 31 日	スポーツ振興課・企画課・健康増進課・農林水産課・商業観光課	中間報告
平成 30（2018）年 2 月 16 日	スポーツ振興課・企画課・健康増進課・農林水産課・商業観光課	最終報告

4. 方針策定の背景

(1) 国の動向

スポーツをめぐる動向

文部科学省が平成 22 (2010) 年 8 月に、「新たなスポーツ文化の確立」を目標に「スポーツ立国戦略」を策定しました。

その後、昭和 36 (1961) 年に制定されたスポーツ振興法を 50 年ぶりに全部改正し、平成 23 (2011) 年 8 月にスポーツ基本法を制定しました。

平成 24 (2012) 年 3 月にはスポーツ基本法に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針としてスポーツ基本計画が策定されました。

平成 27 (2015) 年 10 月に、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画に基づいたスポーツ振興施策を総合的に推進するため、文部科学省の外局として、スポーツ庁を設置しました。

また、今後の動きとして、平成 32 (2020) 年前後に国内で多くの大規模スポーツ大会が予定されており、大会に伴った直接的な経済効果、また間接的な様々な効果に対して期待が高まっています。

スポーツツーリズムをめぐる動向

スポーツツーリズムにおいては、平成 23 (2011) 年に、観光庁主催のスポーツ・ツーリズム推進連絡会議が開催され、「スポーツツーリズム推進基本方針～スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン～」を策定しました。

スポーツツーリズム推進基本方針を受け、平成 24 (2012) 年に、官民連携の「一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA)」が設立されました。

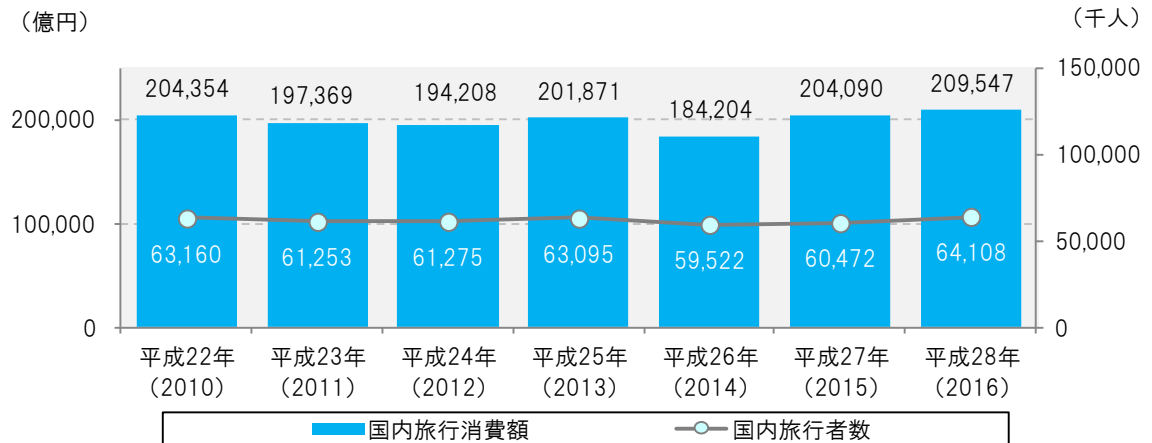
こうした動きを受け、各地域でスポーツツーリズムを推進する「地域プラットフォーム組織」が続々と立ち上がっています。

年	主なできごと
平成 22 (2010) 年	スポーツ立国戦略策定
平成 23 (2011) 年	スポーツ基本法制定 スポーツツーリズム推進基本方針～スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン～策定
平成 24 (2012) 年	スポーツ基本計画策定 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA) 設立
平成 27 (2015) 年	スポーツ庁を設置
平成 31 (2019) 年	ラグビーワールドカップ 2019 開催
平成 32 (2020) 年	東京オリンピック・パラリンピック競技大会
平成 33 (2021) 年	関西ワールドマスタースゲームズ 2021

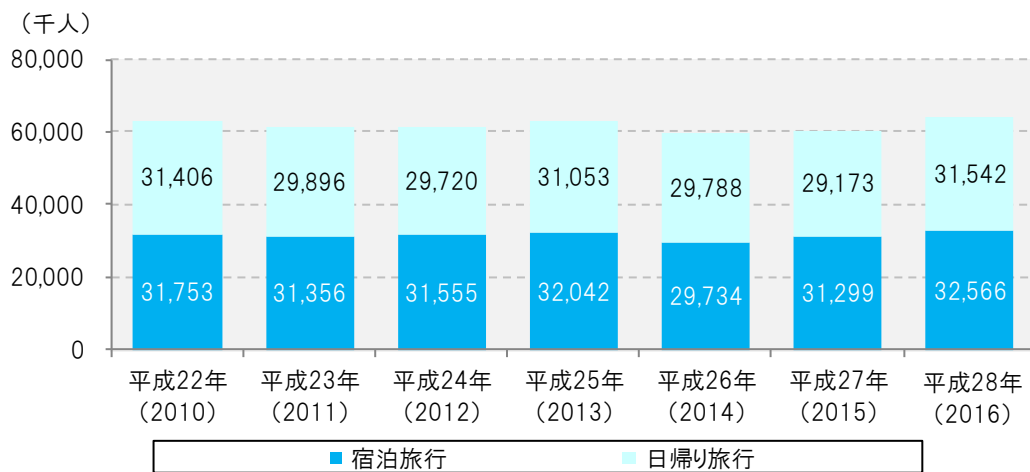
国内旅行をめぐる動向

国内旅行消費額と日本人国内旅行者数の推移をみると、平成26年以降増加傾向にあります。
宿泊・日帰り別にみると、平成28年は前年に比べて特に日帰り旅行者数が伸びています。

▼国内旅行消費額と国内旅行者数の推移



▼宿泊・日帰り別にみる国内旅行者数の推移



資料：観光庁 旅行・観光消費動向調査

訪日旅行をめぐる動向

国において、平成 15（2003）年に「訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）」を開始し、平成 23（2011）年には東日本大震災により激減した訪日外国人数を増加させる取組として、「ビジット・ジャパン・プラス活動」が行われてきました。

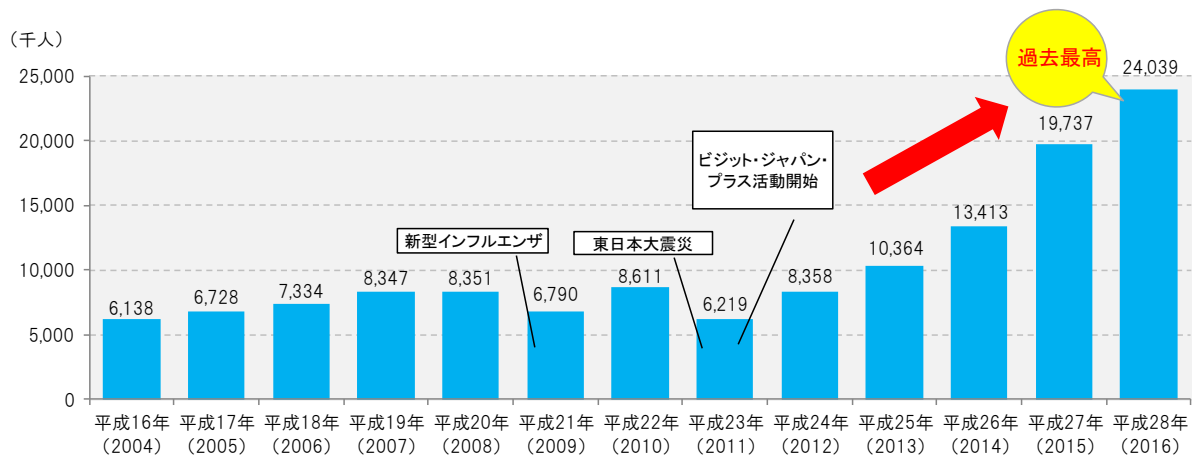
国全体での積極的な取組の結果、訪日外国人数は右肩上がり続け、平成 28（2016）年に日本を訪れた外国人の数が過去最高の 2,403 万人（前年比 21.8%増）を超えました。

さらに滞在中の支出総額も 3.7 兆円を上回っており、外国人の誘致は外貨獲得において重要な役割を担っています。

また、平成 32（2020）年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、今後も日本に対する海外からの注目は高まっていくことが予想され、訪日リピーターによる地方都市観光やスポーツ観光の増加が見込まれています。

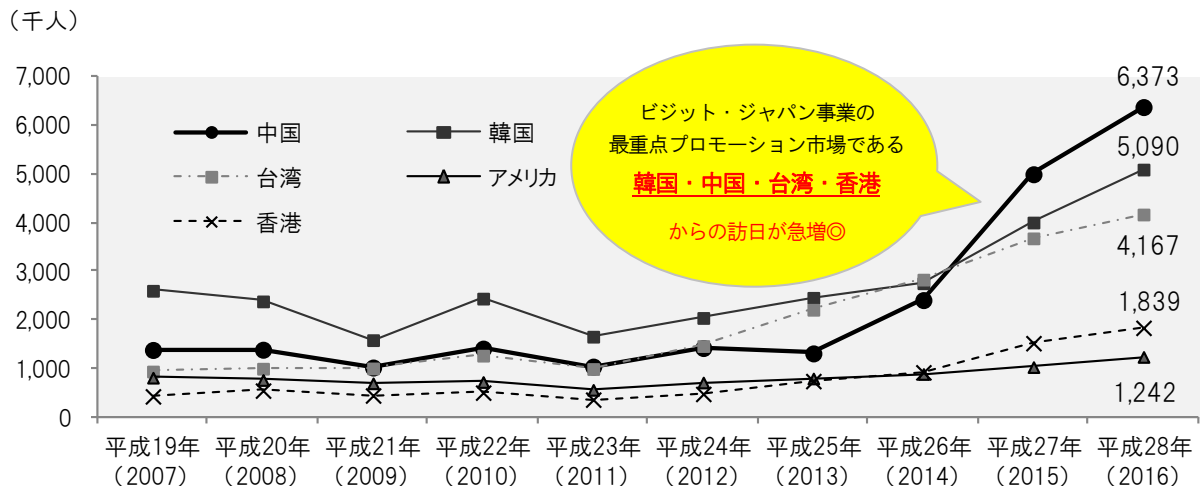
国籍別訪日外国人数の推移をみると、日本全体では中国が急上昇し、平成 28（2016）年には約 630 万人が日本を訪れており、次いで、韓国、台湾、香港と近隣アジア圏の来日が上位を占めています。

▼訪日外国人数の推移



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数の動向」

▼国籍別訪日外国人数の推移（一部抜粋）



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数の動向」

(2) 広島県の動向

スポーツをめぐる動向

広島県では、スポーツ基本法の制定、スポーツ基本計画の策定、オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、平成 26 (2014) 年 8 月に広島県スポーツ推進計画を策定しました。

計画の基本方針として、「地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興」「学校における体育・スポーツの充実」「競技力の向上」「まちの活力創出に向けたスポーツの振興」の 4 つを掲げ、子どもから高齢者、障害者や健常者、初心者からトップアスリートまで全ての市民が様々なスポーツに関わり、生きがいを感じることでできる明るく活気あふれる平和なまちづくりに取り組むこととしています。

具体的には、スポーツをする人の割合増加、運動能力の向上、全国規模の大会で活躍できるようなジュニア選手の育成・強化、プロスポーツの観戦割合増加、大規模大会誘致等の目標を掲げ、県内で「観るスポーツ」「するスポーツ」「支えるスポーツ」が充実していくよう取り組んでいます。

また、県内では各種スポーツのプロチーム等による活動が充実しているほか、県内各市においても特徴あるスポーツイベントが開催されており、「観る」「する」スポーツを自由に楽しむ機会が増えています。

観る スポーツ

- 広島東洋カープ (野球)
- サフレッチェ広島 (サッカー)
- 広島ドラゴンフライズ (バスケットボール)
- 広島ガスバドミントン部
- JTサンダーズ (バレーボール)
- 中国電力陸上競技部
- NTT西日本ソフトテニスクラブ
- ワクナガレオリック (ハンドボール)
- 広島メイプルレッズ (ハンドボール)
- コカ・コーラウエストレッドスパークス (ホッケー) など

する スポーツ

広島市…広島国際平和マラソン (定員 12,000 人)
福山市…福山マラソン (定員 10,030 人)
尾道市…サイクリングしまなみ (定員 7,000 人)
呉市…瀬戸内安芸灘とびしま海道ウォーキング大会 (定員 1,000 人)
三原市…佐木島エコマラソン&ランニングフェスタ (定員 500 人)
廿日市市…はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会 (定員 470 人) など

支える スポーツ

「観るスポーツ」「するスポーツ」の機会が増えることで、多くのスポーツボランティアが関わっています

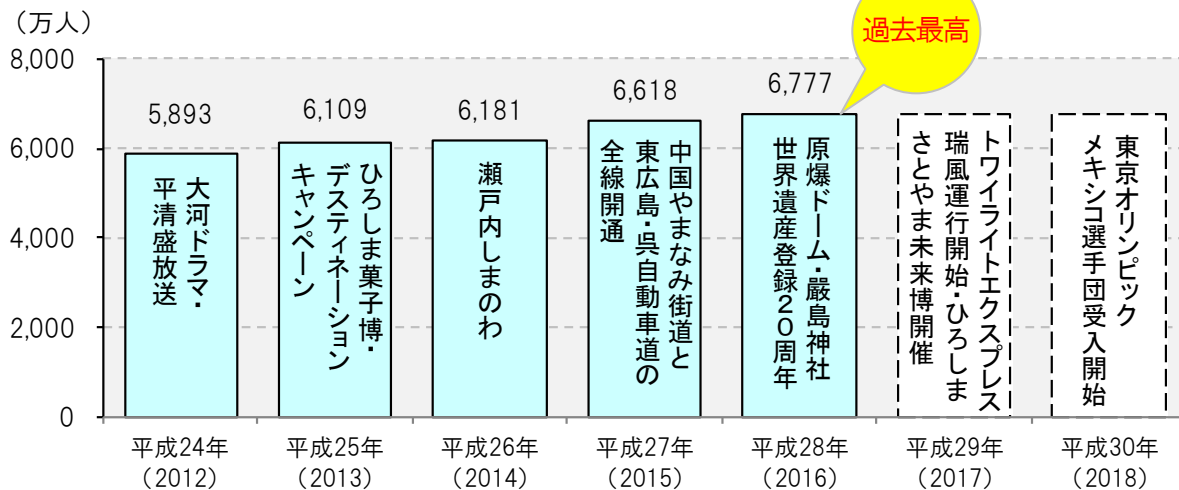
観光をめぐる動向

平成 28 (2016) 年の総観光客数は 6,777 万人で、平成 27 (2015) 年と比べて 159 万人 (2.4%) 増加し、**5 年連続で過去最高を更新**しました。

オバマ前米国大統領の来訪や原爆ドーム及び厳島神社の世界遺産登録 20 周年等、文化的都市として国内外からの注目を集め、**外国人観光客数も増加し続けています。**

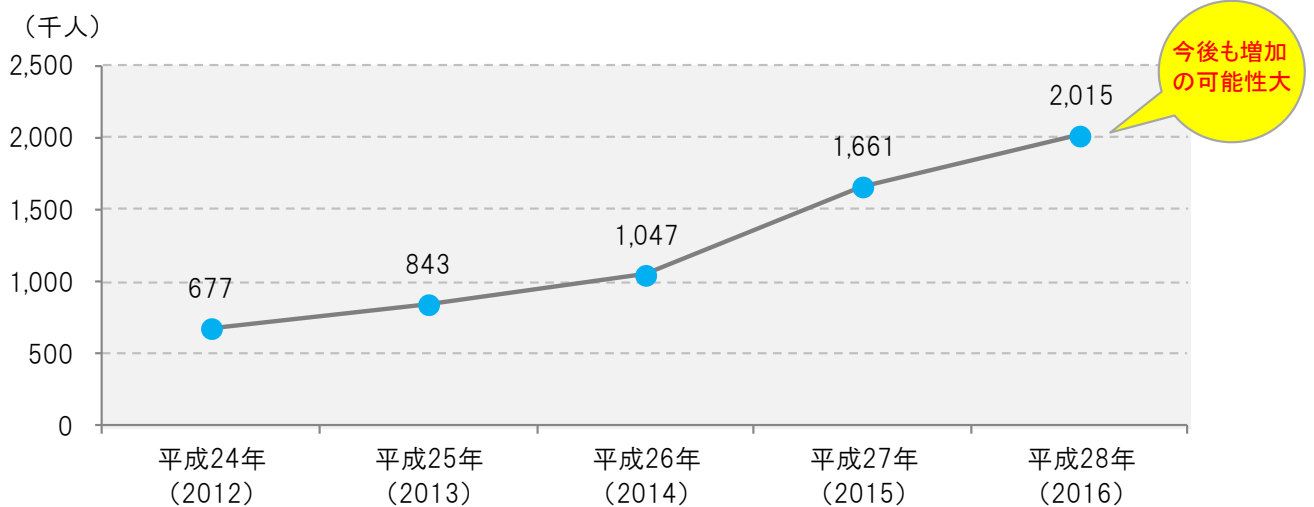
また、平成 29 (2017) 年には、周遊型寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の運行開始や、中山間地域の魅力を発信する「ひろしまさとやま未来博 2017」などが開催され、**平成 30 (2018) 年からは、東京オリンピックに向けたメキシコ選手団の事前合宿等を県内 10 市町で受け入れ、各種交流事業を実施することが予定されています。**

▼広島県の観光入込客数の推移



資料：広島県観光客数の動向

▼広島県の外国人観光客数



資料：広島県観光客数の動向

第2章 本市におけるスポーツツーリズムに関する現状と課題

1. スポーツに関する現状

(1) 施設の立地状況

市内には 50 以上の公共スポーツ施設があります。

この中で、市外からの集客の中心となる公共施設は東広島運動公園で、民間施設では、ゴルフ場が考えられます。



Point

集客の中心は東広島運動公園(年間:約 50 万人)と
ゴルフ場(年間:約 30 万人)

①交通アクセス

本市は、山陽自動車道、東広島・呉自動車道、JR 山陽新幹線、JR 山陽本線等の交通網が整備され、広島空港から市内中心部まで車で約 25 分のアクセスが可能であることから、広島県内はもちろん、県外、国外からアクセスしやすい環境にあります。

広島空港ではソウル、大連、北京、上海、成都、台北、香港、シンガポールとの間で国際線定期便が運航（平成 30（2018）年 2 月現在）しており、これらの国からのインバウンドを取り込める可能性があります。

また、本市を目的地とした来訪はもちろん、鉄道や空路を活用し、周遊型の来訪者をさらに呼び込める可能性もあります。



資料：東広島市 HP

Point

広島県のほぼ中心に位置し、県内外からのアクセスが良好

(2) 市民のスポーツ活動の状況

① スポーツ団体の活動

■ 東広島市体育協会

東広島市体育協会へ加入している競技団体及び地域団体（計 27 団体）は、次のとおりです。

競技団体	陸上競技協会	卓球協会	ゴルフ協会	バスケットボール協会	バドミントン協会
	バレーボール協会	剣道協会	グラウンド・ゴルフ協会	ラグビーフットボール協会	ビーチボールバレー協会
	サッカー協会	テニス協会	レスリング協会	太極拳協会	ゲートボール協会
	ソフトボール協会	水泳連盟	ソフトバレーボール連盟	軟式野球連盟	空手道連盟
	ソフトテニス連盟	柔道連盟			
地域団体	黒瀬体育振興会	福富体育振興会	豊栄体育振興会	河内体育振興会	安芸津体育振興会

■ 東広島市スポーツ少年団

東広島市のスポーツ少年団は、平成 29（2017）年 9 月末現在で、77 団体が登録しています。

主な活動内容

陸上競技、競泳、サッカー、バレーボール、ミニバスケットボール、レスリング、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、剣道、空手道、野球、野外活動、バトントワリング、ソフトバレーボール



②スポーツイベント

本市では、市が主催するスポーツイベントをはじめ、各体育協会加盟団体等により、年間を通じて様々なスポーツイベントが開催されています。

また、これまで市外からの誘客の見込まれるスポーツイベントとして、アジア大会や全国大会など大規模大会開催の実績があります。

また、市が主催するスポーツイベントの対象の多くは市民のため、スポーツツーリズムの推進に向けて市外から誘客の見込まれるイベント等を育成するには、民間（スポーツ関係団体等）の特色あるイベント等を支援する仕組みが必要です。

観る スポーツ

- アジア大会（レスリング・ゴルフ） ●日本シニアオープンゴルフ選手権競技
- 全国高等学校総合体育大会（2016 インターハイ サッカー、レスリング）
- 全日本大学女子選手権（インカレ 女子ソフトボール）
- 広島ドラゴンフライズやJTサンダーズ等の試合
- 全日本柔道強化合宿 ●広島ドラゴンフライズ東広島合宿
- メキシコオリンピックチーム事前合宿
- （H30～32 年度レスリング、ゴルフ、卓球） など

する スポーツ

- 東広島市民スポーツ大会 陸上の部・球技の部
- 東ひろしま新春駅伝競走大会 ●ひろしま県央競歩大会
- さわやかウォークの日歩こうDAY ●広島大学フェニックスリレーマラソン
- 板鍋山登山マラソン ●ハッピーハロウィンランひろしま in 東広島 など

Point

**市民協働の視点で民間の特色あるイベントを
支援する仕組みが必要**



③市民のスポーツ活動の状況

平成 29（2017）年の東広島市スポーツ推進計画策定時に実施した、市民アンケート調査の結果から、市民のスポーツ活動の状況を整理します。（対象は 18 歳以上の市民、回答者数 879 人）

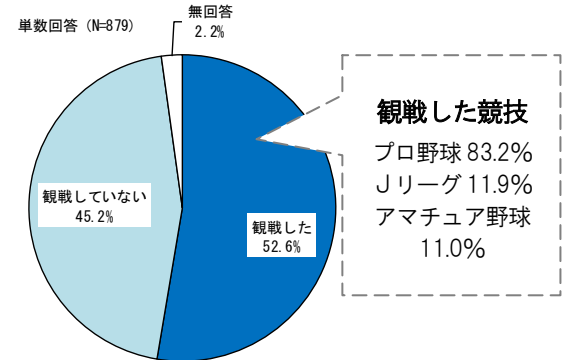
「観るスポーツ」の状況

1 年間でスポーツ観戦（テレビ、ラジオ、インターネットを除く）をした人は **52.6%で半数を超えており**、身近にプロスポーツチーム等がある強みがうかがえます。

平成 28 年社会生活基本調査によると、広島県は「スポーツ観覧行動者」の割合が**全国で 1 位**となっており、全国と比較しても観るスポーツが盛んであることがわかります。

また、本市出身のスポーツ選手については、プロゴルファーの岡本綾子氏の知名度が最も高く、市民の 7 割以上が知っています。

▼1 年間のスポーツ観戦の状況



▼スポーツ観覧行動者の割合

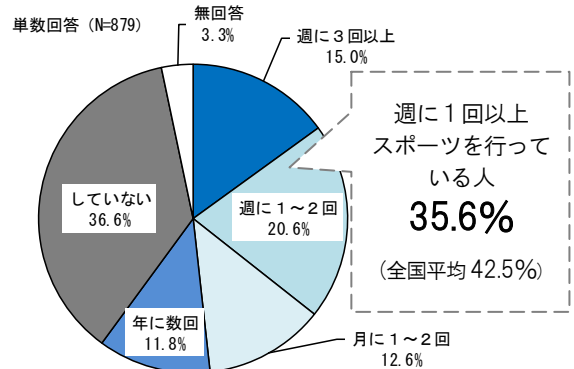
順位	1 位	2 位	3 位
都道府県	広島県	宮城県	福岡県
行動者率	32.9%	26.4%	26.1%

資料：平成 28 年社会生活基本調査

「するスポーツ」の状況

週 1 回以上スポーツを行っている人は全体の 35.6%となっており、これは平成 27（2015）年度の全国平均である週 1 回以上スポーツを行った人 42.5%（出典：「第 2 期スポーツ基本計画」）を**下回っています。**

▼スポーツを行う頻度

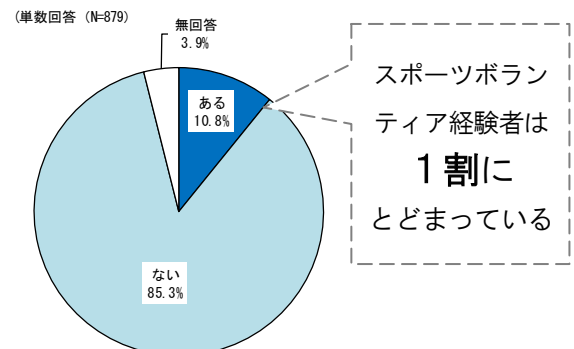


「支えるスポーツ」の状況

スポーツボランティア（イベントの支援やスタッフ等）をしたことがある人については、1 割程度にとどまっています。

スポーツボランティアをした人は「イベント・大会の運営や手伝い」が最も多く、**今後スポーツボランティアを始めたり、続けたりするには「身近な場所で参加できること」が必要であるという意見が多くなっています。**

▼スポーツボランティアの状況



Point

市民のスポーツのきっかけづくりも望まれる

2. 観光に関する現状

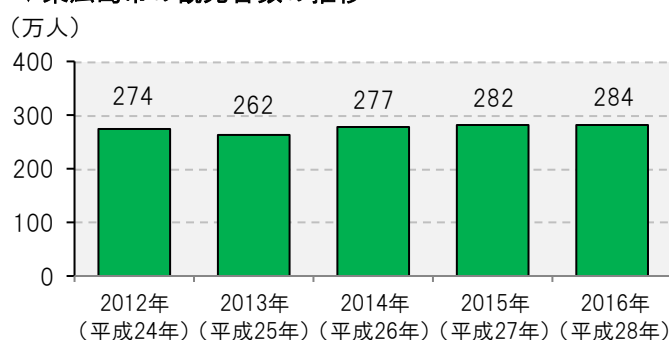
(1) 観光客数

本市への観光客数は平成 25 (2013) 年以降微増し続けており、平成 28 (2016) 年には過去最高の 284 万人が訪れています。

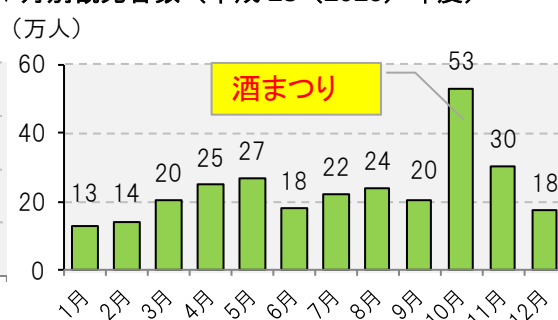
月別にみると、酒まつりが開催される 10 月が最も多く 53 万人となっており、年間観光客の 2 割弱がこの時期に訪れています。

また、本市への観光客は 9 割以上が日帰り客であり、県内客も 9 割以上であることから、特に近隣地域から滞在時間の短い来訪が多いことがわかります。

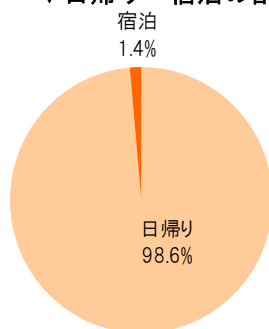
▼東広島市の観光客数の推移



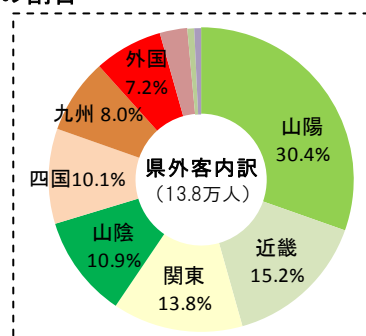
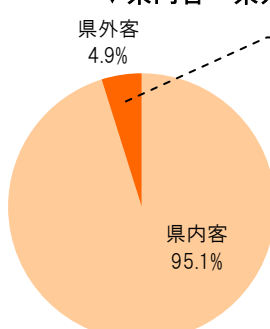
▼月別観光客数 (平成 28 (2016) 年度)



▼日帰り・宿泊の割合



▼県内客・県外客の割合



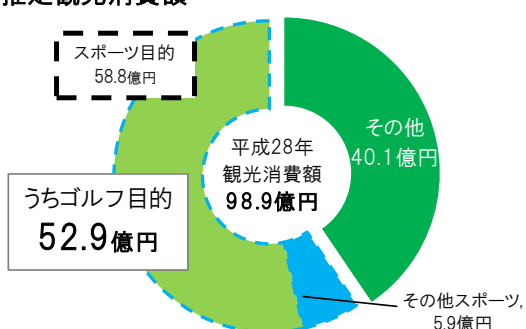
資料：広島県観光客数の動向

(2) 観光消費額

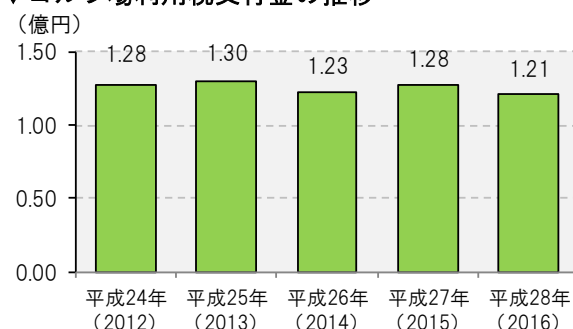
本市の推定観光消費額の内訳をみると、約 6 割の 58.8 億円がスポーツ目的であり、なかでもゴルフは 52.9 億円と突出しており、ゴルフは本市の観光消費における柱となっています。

また、ゴルフ場の利用に伴い、毎年 1 億円以上ものゴルフ場利用税交付金が市へ交付されています。

▼推定観光消費額



▼ゴルフ場利用税交付金の推移



資料：東広島市

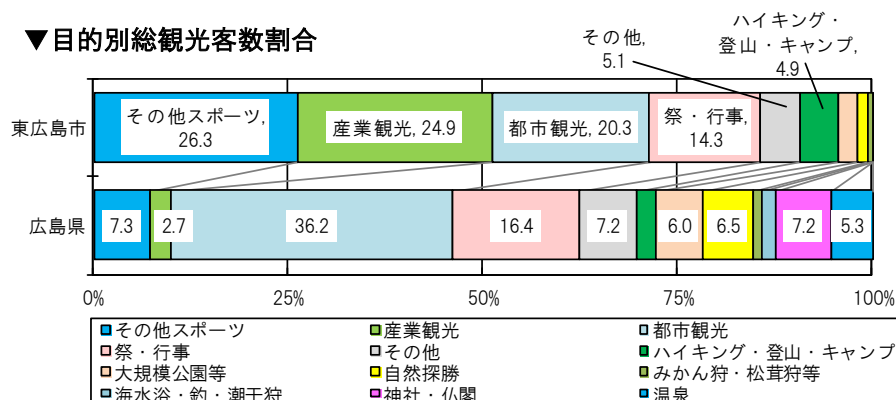
(3) 目的別にみる観光客の動向

目的地別総観光客数割合をみると、東広島市ではスポーツ目的の割合が最も高く、全体の4分の1以上を占めており、広島県と比較してもスポーツ目的の観光客の割合が高くなっています。

ゴルフ目的の観光客の割合をみると、観光客の約8割が市外からの来訪であり、特に県内客が多いことが分かります。

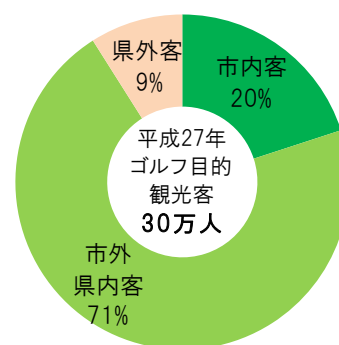
また、経路検索サービスの利用情報を基にした目的地検索回数のトップ10をみると、東広島カントリークラブをはじめとしたゴルフ場が6件、スポーツ機能を有する施設が2件など、スポーツに関連する施設が大半を占めています。

▼目的地別総観光客数割合



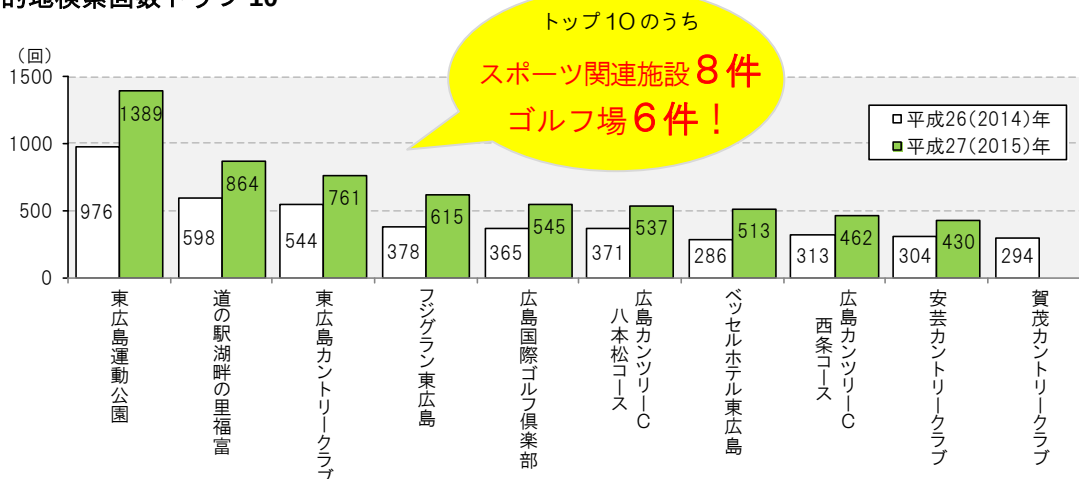
資料：平成28年広島県観光客数の動向

▼ゴルフ目的観光客の内訳



資料：東広島市

▼目的地検索回数トップ10



資料：RESAS（地域経済分析システム）

※2015年は「東広島運動公園」と「アクアスタジアム」が分かれてランクインしていましたが、経年比較のために「東広島運動公園」に統合しています。そのため2015年はトップ9になっています。

Point

**スポーツ施設に多くの観光客が来訪！
観光消費額はゴルフが突出！**

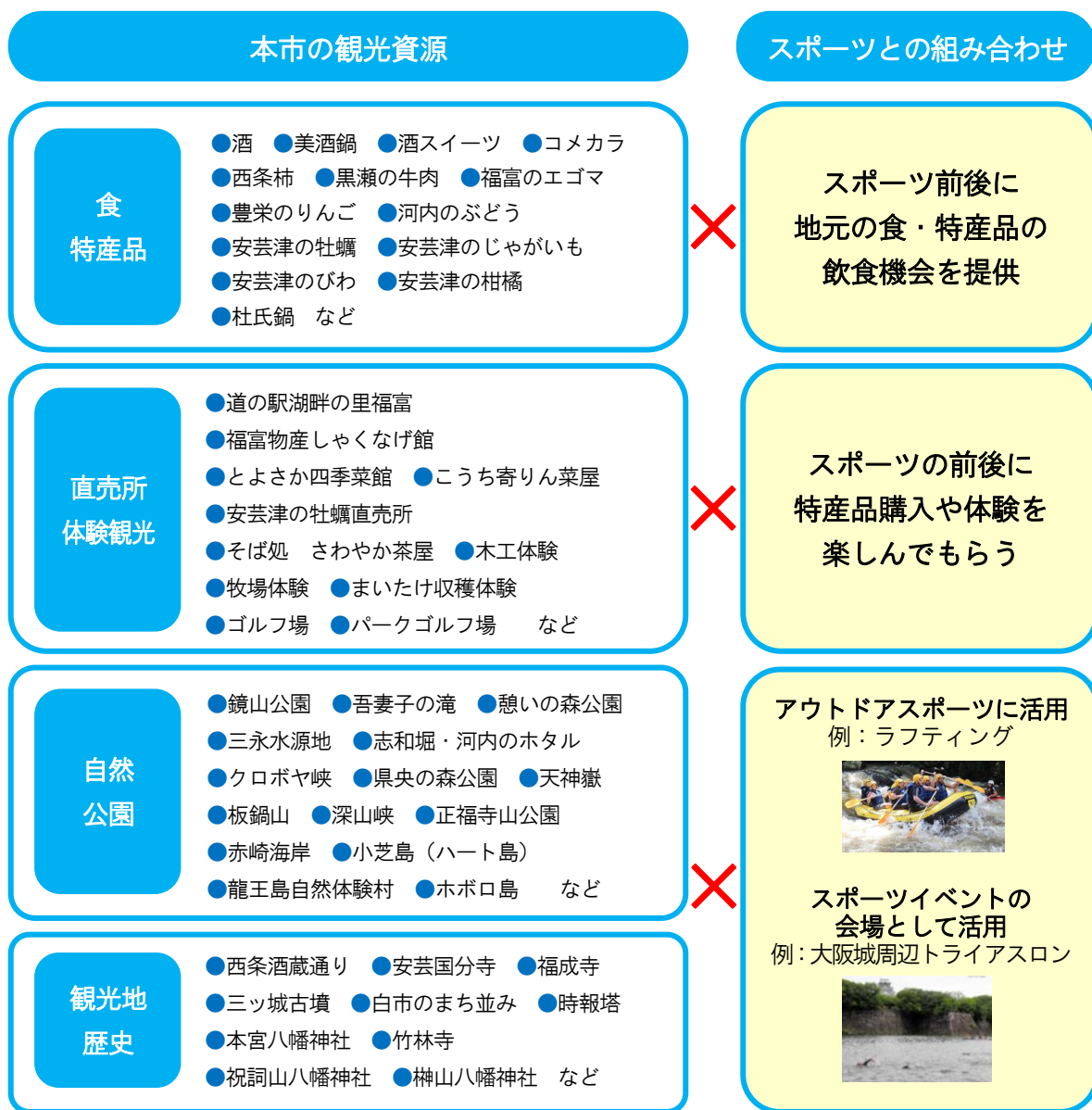
(4) 観光資源

豊かな自然に囲まれた本市には、様々な観光資源が存在します。

スポーツと観光資源を組み合わせることができれば、新たな魅力づくりにつながり、波及効果も期待できることから、こうしたイベントの育成を支援する仕組みが必要です。

また、スポーツ目的の観光客が他の観光資源を訪れるきっかけづくり、飲食や特産品の購入等へつなげる取組も必要です。

今後、インバウンドも視野に入れていくには、市内だけでなく県内の他の観光資源との連携も検討する必要があります。



Point

観光資源とスポーツをマッチングするきっかけが必要

(5) イベント

本市では、主に春から秋にかけて様々なイベントが開催されています。豊かな自然を楽しむものや、市内の特産品を楽しむものなど、多くの人が本市を訪れるきっかけとなっています。

なかでも、酒まつりは、集客数、地域経済への波及効果など、本市を代表するイベントであり、本市の知名度向上にも大きく寄与しています。

これらのイベントに加え、本市のスポーツ資源の特長を打ち出す新たなイベントを育成することができれば、本市の知名度向上にも寄与します。

3~5月 春 ●<西条>三永水源地桜・藤棚一般開放 ●<安芸津>正福寺山公園の桜 ●<志和>春の園芸まつり ●<河内>竹林寺華まつり ●<福富>クロボヤ峡のシャクナゲ ●<西条>春の西条 醸華町まつり ●<西条>あかりの散歩道 ●<西条>西条酒蔵通り 「ほろよい散歩セット」販売	6~8月 夏 ●<西条>ひがしひろしま音楽祭 ●<志和>ホテルまつり ●<西条>御建神社祇園まつり ●<安芸津>祇園祭 ●<黒瀬>ふれあい夏まつり ●<河内>リバーサイドフェスティバル ●<安芸津>あきつ住吉祭 ●<豊栄>どまんなか豊栄ヘソまつり ●<安芸津>東広島花火大会 ●<西条>広島中央サイエンスパーク施設公開
9~11月 秋 ●<福富>アクアフェスタ in 福富 ●<西条>酒まつり ●<安芸津>火とグルメの祭典 あきつフェスティバル ●<西条>ひがしひろしま市民芸能祭	12~2月 冬 ●<西条>龍王山初登頂 ●<市全域>とんど ●<西条>東広島市芸術祭

Point

「日本酒」に続く本市の特長を打ち出せるイベントの育成が必要

東広島と言えば「日本酒」。

東広島と言えば（スポーツなら）「…」につながるイベントの育成

(6) 宿泊施設

本市には、ホテル・旅館等宿泊施設が約 20 軒立地しています。

市内の宿泊施設にヒアリングを行った結果、ビジネス利用がメインであり、スポーツ目的の利用者の受入に消極的な宿泊施設も見受けられました。

今後、スポーツツーリズムを進める上では、スポーツ関係団体と宿泊施設が連携するきっかけづくりが求められます。

(7) 関連組織

本市には、4大学をはじめ、スポーツ関連団体や観光関連団体など、スポーツと観光に関連する団体等が多く存在します。

しかし、各団体等が効果的に連携し合い、機能しているとは言い難い状況にあります。

国内を見てみると、各所においてスポーツに関する企画・運営を推進する組織を立ち上げる事例が見られます。

地域に根差した活動を行うために関係団体が手を取り合い、連携することにより、効果的な展開の手助けになることが期待されています。

例えば、市内で多くの誘客が見込まれるスポーツイベントの開催情報を、飲食、宿泊、特産品、交通事業者等の関係事業者等が事前に把握することができれば、経済波及効果を高める可能性が高まるとともに、来訪者にとっても利便性が高まり、魅力的なイベントとなる可能性が高まります。

今後、スポーツツーリズムを加速させていくためには、地域の関連団体等の情報共有等に向けたネットワーク構築が求められます。

スポーツ 関連団体	●体育協会加盟団体 ●市内ゴルフ場 ●東広島市スポーツ推進委員協議会 ●東広島ウオーキング協会 ●伯和ビクトリーズ硬式野球部 ●広島県障害者スポーツ協会 ●広島大学体育会 ●近畿大学工学部体育会本部 ●広島国際大学体育会 ●東広島運動公園指定管理者 など
観光関連団体	●東広島市観光協会 ●福富町観光協会 ●東広島商工会議所 ●黒瀬商工会 ●広島県央商工会 ●安芸津町商工会 ●東広島青年会議所 ●西条酒造協会 ●西条ステキ委員会 ●豊栄くらす ●道の駅湖畔の里福富 ●福富物産しゃくなげ館 ●こうち寄りん菜屋 ●とよさか四季菜館 ●J A広島中央となりの農家 ●J A芸南農産物直売所「ふれあい市」 ●宿泊施設 ●旅行会社 など
学校	●広島大学 ●近畿大学工学部 ●広島国際大学 ●エリザベト音楽大学 ●市内小・中・高等学校 など

Point

分野の垣根を越えた連携のきっかけづくりが重要

3. スポーツツーリズムに関する意識の状況

(1) 調査概要

本方針の策定に向け、市民のスポーツツーリズムに関する意識・実態把握することを目的として、次の調査を実施しました。

①団体調査

調査の概要
○調査対象：市体育協会加盟団体、市内ゴルフ場、地区医師会加盟整形外科、宿泊施設、旅行会社等 ○対象者数：130 団体 ○調査方法：FAX・郵送 ○調査期間：平成 29（2017）年 10 月 4 日～10 月 16 日 ○有効回収数：42 件 ○回収率：32.3%

②市内外スポーツ観戦客調査

調査の概要
○調査対象：広島ドラゴンフライズ プレシーズンマッチ観戦者 ○調査方法：イベント当日配布、回収 ○調査期間：平成 29（2017）年 11 月 ○有効回収数：316 件（参考：入場者数 1,963 人）

③東広島市スポーツツーリズム推進会議ワークショップ

実施の概要
○メンバー：スポーツ振興課、企画課、健康増進課、農林水産課、商業観光課の職員 ○実施日：平成 29（2017）年 11 月 10 日 ○テーマ：「本市が目指すスポーツツーリズムの方向性について」

④先進地事例ヒアリング

北海道ゴルフ観光協会 代表幹事 高橋尚子氏に、架電、面会にてヒアリング

⑤ゴルフ場意見交換会

実施の概要	
○メンバー：市内 7 ゴルフ場の代表者 安芸カントリークラブ、賀茂カントリークラブ 東広島カントリークラブ、広島国際ゴルフ倶楽部 広島東映カントリークラブ、宮島志和カンツリー倶楽部 広島カンツリー倶楽部	○実施日 第 1 回 平成 29（2017）年 12 月 8 日 第 2 回 平成 30（2018）年 1 月 24 日 第 3 回 平成 30（2018）年 2 月 6 日 第 4 回 平成 30（2018）年 2 月 14 日

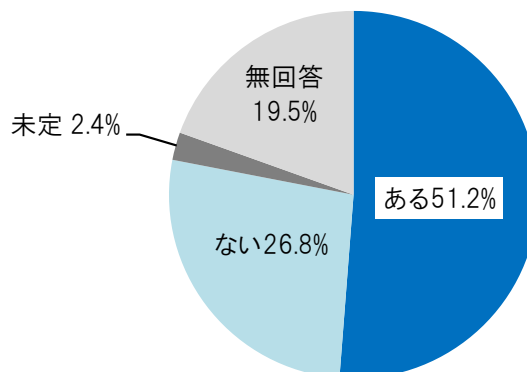
(2) 調査結果

①団体調査 (42 件)

●イベントの内容によっては協力を考える団体が5割以上

スポーツツーリズムに関するイベントや企画について、参加・協力の希望があると答えた団体は約半数を占めており、イベントの内容によっては協力したいと考えています。

▼スポーツツーリズムへの参加・協力の希望

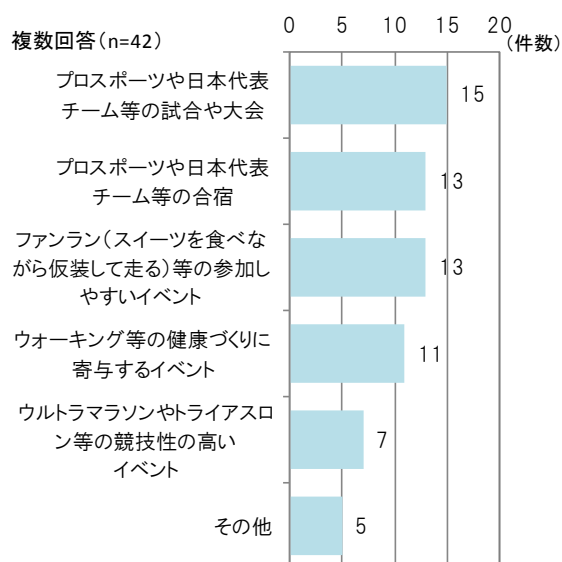


●プロスポーツ誘致に期待を寄せている

本市の特徴を活かし、県内外（海外も含む）から集客力があるスポーツイベント等を育成する場合、考えられるイベントとしては、プロスポーツや日本代表チーム等の試合や大会・合宿が考えられています。

具体的な競技としては、ゴルフ、サイクリング、野球（カープ）等が挙げられています。

▼集客力があるイベントとして考えられるもの

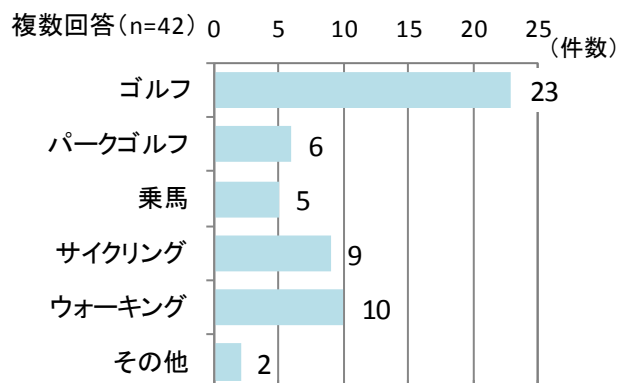


●来訪者へのおすすめスポーツはゴルフ

本市に観光やビジネス等で訪れた方に対して、おすすめするスポーツについては、ゴルフが最も多くなっています。

大学や企業が集積している本市にはビジネス客も多く訪れるため、別の目的で訪れた方に、多数あるゴルフ場を利用いただくルートづくりが有効であると考えられます。

▼別の目的（観光・ビジネス・学会等）で来市された方に、おすすめのスポーツ



②市内外スポーツ観戦客調査

【調査結果ポイント】

- 広島ドラゴンフライズの観戦者は市外及び県外からの来場者が7割強
- 試合で観光PRや特産品販売を行うことは効果的
- 試合前後に市内観光地を訪れるのは1割弱と少なく、飲食店を訪れるのは2割強
- 飲食店を訪れた人の1人当たりの消費額は推計で約2,250円

【今後の検討ポイント】

- 広島ドラゴンフライズに限らず、プロスポーツの合宿や試合の開催は、市民への「観るスポーツ」の機会提供だけでなく、市外からの誘客効果が高く、スポーツツーリズムの柱の一つになると思われます。
- 特に試合等の観戦者が多い際に観光PRや特産品販売を効果的に行う仕組みを構築すれば、地域経済活性化により寄与するものと思われます。
- 県内には広島東洋カープ、サンフレッチェ広島をはじめとしたプロスポーツやJTサンダーズ等もあることから、こうした強みを効果的に市のスポーツ振興や地域経済活性化につなげることが望まれます。
- これらの実施は、民間（体育協会加盟団体等）が主体となってい、行政が支援することが望ましいと思われます。

③東広島市スポーツツーリズム推進ワークショップ

【参加関係課】

スポーツ振興課・企画課・健康増進課・農林水産課・商業観光課

広島経済大学 藤口光紀教授による「スポーツツーリズムとは？」についての講演内容をもとに本市が目指すスポーツツーリズムの方向性について、市の関係課職員によるワークショップを行いました。

▼A班の意見（一部抜粋）

市の魅力	●酒 ●特産品（酒、西条柿、エゴマ、カキ、エゴマ等） ●竹林寺 ●ハート島 ●森林ツーリズム
市のスポーツ資源	●ゴルフ ●レスリング ●バスケットボール ●バレーボール ●剣道 ●サッカー ●競歩 ●陸上競技 ●相撲 ●野球 ●水泳 ●卓球 ●いきいき百歳体操
具体的なスポーツツーリズム案	案1）マラニック 競技性が小さく、自然の中で楽しみながら汗を流せる競技として、マラソンとピクニックを掛け合わせた「マラニック」が良いと考える。 自然と豊富な食・特産品を効果的にPRすることができ、持続的な運営も比較的簡易に可能である。また、サポートとして大学や女性会、JA等を組織に加えることも可能と考える。市の支援として、広報や補助金、運営の支援などが適切と考える。

▼B班の意見（一部抜粋）

市の魅力	●酒 ●海、山、川などの自然 ●大学 ●農産物 ●田んぼ ●史跡
市のスポーツ資源	●ゴルフ ●ウォーキング ●ソフトボール ●剣道 ●空手 ●卓球 ●マラソン ●登山 ●レスリング ●サッカー ●バスケットボール
具体的なスポーツ ツーリズム案	案1) ゴルフツーリズム 県内及び中国地方トップクラスのゴルフ場数を誇り、名門コースも有するゴルフを中心としたツーリズムが良いと考える。市の特産品とのつながり形成、市民への優遇策や健康づくりへの寄与、未経験者のきっかけづくりも必要。将来はインバウンドの誘致へつなげることも望まれる。 案2) ウォーキングイベント 健康づくりのためにウォーキングをしている人が多いので、ウォーキングを中心としたスポーツツーリズムも良いと考える。普段は入れないところを特別に歩いたり、有名人と歩いたりなど、意外性や話題性、楽しみながら歩ける工夫を取り入れていくことが望まれる。

【ワークショップで出た意見のまとめ（両班・藤口教授意見含む）】

- 「ゴルフ」「自然」「特産品」に対する意見が多く、今後のツーリズムの核となる
- 大学や企業が集積している強みを活かすことが望まれる
- 充実した運動施設、自然環境を有するため、有効活用し、波及効果へと繋げる必要がある
- スナッグゴルフなどの全国トップクラスの成績を誇るスポーツを育成することで、市民普及へ繋げられる
- いきなりメガイベントを打っても、周りがついてこなかったり、キャパオーバーになってしまうため、近場から段階的にスポーツイベントを始めるべき

▼ワークショップの様子



④先進地事例ヒアリング

【意見】

- 広島県はインバウンド客から見て、文化的に魅力ある都市。（原爆ドーム、宮島、オバマ前大統領来広等。）今は広島でゴルフができることを知られていないが、ゴルフができることをアピールすれば、さらなる観光需要を見込めるはず。
- 東京オリンピックを控え、スポーツツーリズムの動きは他市町でも活発になってきている。ゴルフツーリズムも徐々に他地域が動き始めており、遅れをとらないようにするべき。
- ゴルフツーリズム、ゴルフデスティネーション（ゴルフを目的とした旅行）としてインバウンドを呼び込むには、周遊旅行が基本。県内をはじめ近隣の県などの周辺地域と連携する必要がある。

⑤ゴルフ場意見交換会

【参加ゴルフ場名】

安芸カントリークラブ	広島東映カントリークラブ
賀茂カントリークラブ	宮島志和カンツリー倶楽部
東広島カントリークラブ	広島カンツリー倶楽部
広島国際ゴルフ倶楽部	

【意見】

■ゴルフを中心としたスポーツツーリズムについて

- 市内のゴルフ場が各種団体等と連携し、スポーツツーリズムを進めることに賛成。
- 「ゴルフのまち東広島」として認知されるよう、取組を強化していきたい。

■海外からのゴルフ客の誘致について

- 空港が近い利便性を活用するために将来的には取組を進めたいが、現状体制が整わない。
- 市・観光協会・旅行会社とタイアップし、長続きして無理のないようやっていきたい。
- 海外のゴルフ客の受け入れには、マナー面での問題の解決が必須。
- 受入のためには、ターゲット国の選定や中間に入る業者の信頼性が重要となる。
- 言葉の壁が厚い。

■市外・県外のゴルフ客の誘致について

- 企業の社員旅行、新人研修等の誘致が考えられる。
- 企業の新入社員がゴルフをするきっかけが減少してきているので、企業対抗ゴルフ大会等を企画し、新たなイベントで活性化を図ることも考えられる。
- 市内ゴルフ場のスタンプラリー等も考えられる。
- ゴルフに加えて、市内観光地や原爆ドームや宮島を周遊してもらうルートが考えられる。
- 北海道等の積雪が多い地域と連携をして、プレーヤーの行き来等の交流があってもよい。
- ホテル＋食＋ゴルフのパックは今までであったが、対象をゴルファーだけとしない、観光要素も含んだパックを考えてみるのもいいと思う。
- PR 面でのフォローが必要。
- 大きな集客が見込める大会等の検討。

■市内のゴルフ愛好者の増に向けて

- 東広島市では町民・市民ゴルフが組織化できている。
- イベントを開催し、女性や子どもにゴルフ場へ足を運んでもらう仕組みづくりが必要。
- 東広島市社協主催で、障害者の方を対象としたゴルフイベントを7年程やっている。
- 広島大学にゴルフの授業化を働きかけている。

■検討組織及び参加意向について

- ゴルフ関係団体以外（宿泊施設、教育関係、企業、飲食店、旅行会社）との連携が必須。

■その他

- オリンピックのメキシコ選手団との交流を通じて盛り上げたい。
- ふるさと納税など、既存の仕組みを有効活用した PR も検討の余地がある。

4. スポーツツーリズム推進にあたっての課題

(1) 本市における強みと弱み

調査結果等をもとに、本市のスポーツツーリズムに関する強みと弱みを整理します。

強み	● 地方圏において<u>人口増加が継続している数少ない自治体</u>である。 ● 企業や大学が集積しており、ビジネス関連の来訪者も多くいる。 ● 4つの大学があり、大学や、学生との連携も考えられる。 ● 空港、JR山陽新幹線、高速道路等の交通網が整備され、<u>県内、県外からのアクセスに恵まれた立地。</u> ● 日本でも有数の酒処であり、酒蔵等の観光地として、イベントでは酒まつりも知名度がある。 ● 山・川・海などの豊かな自然に囲まれ、スポーツツーリズムに活かせる素材は備わっている。 ● 宮島、原爆ドーム等の<u>世界的に知名度の高い県内観光地へもアクセスが可能。</u> ● <u>50以上の公共スポーツ施設がある。</u> ● オリンピックのメキシコ選手団（ゴルフ・レスリング・卓球）の合宿が行われる。 ● 東広島運動公園では、数多くの大会が実施されており、県外からの来場者の多い大会等も含まれている。 ● <u>県内で最もゴルフ場が多く、プロ選手も輩出している。ゴルフは、本市の観光消費額の約5割を占めている。</u> ● 公益社団法人日本パークゴルフ協会の公認コースは、<u>県内では本市の福富と河内にある2つのパークゴルフ場のみ。</u> ● スナッグゴルフは、<u>全国トップクラスの競技力を有する小学校が複数ある。</u> ● <u>ゴルフ客の増は、市の歳入の増にもつながる。</u> ● 農業が盛んで、特産品開発も進めている。 ● スポーツツーリズムに取り組む意欲のある団体が複数ある。
弱み	● ゴルフツーリズムの先進地（北海道や沖縄など）と比べ、観光要素が弱い。 ● 日帰り観光客が9割以上で<u>滞在日数が短い。</u> ● 県外観光客が約5%。 ● 観光客が酒まつりの開催される<u>10月に集中</u>している。 ● スポーツツーリズムを推進する組織がない。 ● スポーツボランティアの経験者は1割程度で、普及していない。 ● <u>情報発信が不十分。</u>

Point

スポーツツーリズムの創出に向けた豊かな自然等の
素材は備わっている

(2) 課題

本市のスポーツツーリズム推進にあたって、以下の4つの視点で課題を捉えます。

①本市の優位性を活かしたスポーツツーリズムの推進

各自治体がスポーツツーリズムの推進に取り組み始める中、その種目はサイクリングやランニングを始めラフティング、ロッククライミングなど、幅広い分野にわたっています。

本市で特色あるスポーツツーリズムを推進していくには、本市が有する地域資源の優位性を活かし「東広島らしさ」のある取組を核とする必要があります。

また、本市が有する山・川・海等の豊かな自然環境を活かし、市域の魅力の発信と集客ができる新たなスポーツツーリズムの育成も望めます。

②推進主体の育成

スポーツツーリズムの推進には、主体的に取り組む団体が不可欠です。

本市は多数の魅力的な地域資源を有していますが、それを活かすには、アイデアと併せて主体的に取り組む推進主体がいてはじめて実施が可能となります。「人」や「団体」もまた地域の重要な資源であり、こうした要となる「人」や「団体」の育成やサポートを行政が行い、地域全体でスポーツツーリズムを推進していくことが求められます。

また、スポーツツーリズムには、多様な関係者の連携が必須であり、目的の共有や意識統一のきっかけづくりも必要です。さらには、本市に4大学がある強みを活かす視点も重要です。

スポーツツーリズムを発展させ、その相乗効果を高めていくには、市民協働の視点で、それぞれの強みを活かし、各々が主体的にかつ連携して取り組んでいくことが不可欠です。

あわせて、推進主体の現状や周辺環境も踏まえ、短期視点と中長期視点を持ち、段階的に推進していくことが重要です。

③選択と集中

限られた財源の中で、効果的にスポーツツーリズムを推進していくには、「選択と集中」が必要です。本市の優位性や推進主体の意欲等だけでなく、交流人口の拡大、地域経済への波及効果等に、より寄与する取組を見極めるとともに、その活動の助言等を行える組織の設立が求められます。

また、その取組結果を常に検証し、改善し続ける視点も重要です。

④市民との一体感の醸成

スポーツツーリズムを推進するには、市民がボランティアなどの多様な形で参加することが望ましいと言えます。

そのため、情報発信や参加機会の提供等を通じ、市民の来訪者をもてなす意識の醸成を図ることも必要です。

また、市民の健康増進や競技力向上にも寄与する取組を支援する視点も重要です。

第3章 スポーツツーリズム推進戦略

1. 本市が目指すスポーツツーリズムの姿

本市では、県内で最もゴルフ場が集積している強みを活かし、「東広島らしさ」のあるスポーツツーリズムの創出を目指します。

また、これまでもスポーツツーリズムに寄与するイベント等が実施されており、こうした取組のさらなる発展をはじめ、新たな魅力を創造する事業の展開を目指します。

スポーツツーリズムの展開を通して、市内の関係団体等が win-win となるネットワーク化や市民がボランティアとして参加できる機会を提供し、それぞれが主体的にスポーツツーリズムに関わる環境を整え、地域に潤いと活力を生み出すことを目指します。

こうした取組を通して、交流人口の拡大、地域経済の波及効果、地域の知名度向上、地域住民のスポーツ活動の活発化を図り、「スポーツで地域を創るまち」の創造に寄与します。

② 本市が目指す将来像



本市が目指す将来像

スポーツで地域を創るまち

～地域に潤いと活力を生むスポーツツーリズムの推進～

スポーツで地域を創るまち

～地域に潤いと活力を生むスポーツツーリズムの推進～

▼3本柱

①ゴルフを 核とした ツーリズム

本市のスポーツ資源において、最大の強みであるゴルフと、地域にあるさまざまな資源を掛け合わせて、観光消費の創出・交流人口の拡大を目指します。

②特色ある イベントの 実施支援

誘客効果の高いスポーツイベントと飲食、宿泊等の観光資源が連携したイベント等の実施を支援するとともに、そうした取組の助言や選定等を行う組織を設立します。

③情報共有 の仕組み づくり

スポーツ資源と観光資源の連携や情報共有を強化するとともに、各種団体や市民がスポーツに触れる機会を増やすことで、まちが活性化し続けることを目指します。

▼実現に向けての事業展開イメージ

【事業①】
スポーツで地域をつなぐ
ネットワークづくり

【事業②】
スポーツイベントの
開催・誘致

【事業③】
スポーツと
市民をつなぐ

【事業④】
段階的な
プロモーション

2. スポーツツーリズム推進における3本柱

①ゴルフを核としたツーリズム(ゴルフツーリズム)

本市の強みとして、市外からの誘客力が強いゴルフ場が集積していることが挙げられます。ゴルフは市の観光消費額の柱となっており、利用者が納めるゴルフ場利用税の交付金は市の貴重な財源となっています。

地域の強みであるゴルフは、幅広い世代が楽しめるスポーツであることに加え、地域にある様々な資源と掛け合わせることが可能です。

各ゴルフ場の魅力を広く「知ってもらい」、興味を持って「来てもらい」、来訪者の周遊範囲や購買機会等を「拡げていく」仕組みづくりを通して地域経済への波及効果の拡大を図ります。

また、平成32(2020)年東京オリンピックに向けたメキシコ選手団(ゴルフ)の事前合宿が決定しており、こうした機会も有効に活用し、「ゴルフ＝東広島市」と市内外から想起されるように知名度の向上等も図ります。

ゴルフの現状について

日本のゴルフ場数は、世界トップクラスの約2,300を誇り、まさに「ゴルフ場大国」と言えます。しかし、国内のゴルフ人口の減少等により、経営状況が悪化しているゴルフ場も多く、ゴルフ場数も減少傾向にあります。

こうした中、全国規模のゴルフ関連16団体で構成される日本ゴルフサミット会議では、平成27年1月に「ゴルフ市場活性化のための戦略目標と主要戦術課題」が共通認識として決議され、新規ゴルファーの創造等によるゴルフ需要の拡大等に向けて、「若年層(20代・30代)及び女性層等の開拓」、「インバウンドゴルファーの誘致」、「新しいゴルフの楽しみ方の提案」、「魅力あるトーナメントの開催」等に協力して取り組んでいくこととしています。

本市の観光振興に「ゴルフ」は大きな一翼を担っており、交流人口や地域経済への波及効果の維持・向上に向けて、「ゴルフ目的の観光客の継続的な誘致」や「ゴルフ目的の観光客による地域経済の波及効果の拡大」に寄与する取組を支援します。

ゴルフを核にする理由

1. ゴルフ場の集積

本市には、地域の強みとしてゴルフ場が集積しています。

ゴルフツーリズムを進める際に、名門コースも含め7クラブ8コースのゴルフ場があり、各ゴルフ場に連携して取り組む意欲があることから、事業推進がスムーズかつ実現可能性の高いものになります。

また、ゴルフを広く捉えれば、公認の2つのパークゴルフ場があることをはじめ、市民へ普及しているグラウンド・ゴルフ、全国トップクラスの競技力を有する複数の小学校があるスナッグゴルフなど、その対象となる世代等の幅を、より広げた推進も可能になります。

2. 観光関連団体等からの高い認知度

本方針の策定に向け、スポーツツーリズムに関連する団体に調査を行った結果、本市に観光やビジネスで訪れる方におすすめするスポーツは、「ゴルフ」が突出して多く、市内関係団体のゴルフに対する認知度が高いことから、ゴルフを柱として推進する際の理解や協力を得やすいことも大きな理由といえます。

また、アジア大会のゴルフ競技の会場としての実績やメキシコ選手団（ゴルフ）の事前合宿地として決定しており、県内において「ゴルフ＝東広島市」の一定の認知度が既にある強みを活かすことは効果的と言えます。

3. 本市の観光消費の柱であり、市の歳入にも貢献

ゴルフは市の観光消費額に大きく寄与しており、ゴルフ場利用税交付金は市の貴重な歳入となっています。

また、広島県はゴルフプレー料への支出（参考：平成28年 総務省統計局「家計調査」）が、47都道府県中12位、中四国ではトップとなっており、全国でも高い水準で県民がゴルフに関わっています。

ゴルフ場の利用が活性化するとともに、観光関連団体とのネットワークを構築することで、さらなる経済波及効果が期待できます。

4. 世界で高まる、ゴルフへの関心

2016年のリオ・デ・ジャネイロ五輪からゴルフが正式競技として復帰し、2020年の東京大会でもゴルフ競技が行われることから、世界でゴルフへの関心が高まっています。

また、国全体で増加するインバウンド客の中でも、アジア圏では特にゴルフ人口が増大しており、ゴルフを目的としたインバウンド客の増加が見込まれています。

②特色あるイベントの実施支援

本市には、山・川・海等の自然や食・特産品など多くの地域資源を有しており、こうした地域の特徴を活かせば、新たな魅力の発信や集客を高めるスポーツを推進できるポテンシャルがあります。

本市では、「ハッピーハロウィンランひろしま in 東広島」といったスポーツツーリズムに寄与するイベントが民間主導で実施されていますが、こうした意欲的な取組を育成・支援する仕組みづくりが必要です。

また、参加者数の多いスポーツ大会等も多数開催されていますが、観光資源との結びつきは弱く、来訪者が本市の魅力に触れる機会が少ないのが現状です。

特に、大会に参加する選手ではなく、比較的時間に余裕のある付き添いや応援に来ている人等については、市内の周遊等につなげられる可能性は高いものと思われれます。

本市が有する自然等を活かしたスポーツツーリズムの創出に向けた取組や、観光資源と誘客効果の高いスポーツイベントを結びつける取組を支援する仕組みを構築し、交流人口の拡大や地域経済への波及効果の拡大等を目指します。

そうしたスポーツツーリズムに寄与するイベントの選定や、助言を行う組織の設立を目指します。



③情報共有の仕組みづくり

本市には多くのスポーツ資源や観光資源が存在していますが、互いの連携や情報共有が希薄であることから、包括的な消費につながっていません。

スポーツを軸に飲食、特産品、宿泊、観光等との連携を強化し、win-win のネットワークづくりを目指します。

また、市民がスポーツを「観る」「する」「支える」機会を増やすことで、スポーツ活動に対する意識向上が期待できます。

3. 実現に向けての事業展開イメージ

事業① スポーツで地域をつなぐネットワークづくり

本市にはスポーツ資源が多く存在し、多くの人々がスポーツを目的として訪れています。

その中でもゴルフは、県内で最も集積しており、市外からの誘客効果が高く、観光消費額へも大きく寄与しています。

また、ゴルフ場利用税交付金が市へ交付され、本市のまちづくりにも寄与しており、本市の基幹的なスポーツ・観光資源です。

今後、本市の強みを活かし、ゴルフを核として、飲食、特産品、宿泊、観光、旅行業等の民間企業や市民が連携・協力していくネットワークづくりを行います。

また、他のスポーツについても、ネットワークの構築を支援し、双方に潤いを生むきっかけづくりを行います。

特に東広島運動公園は、数多くのスポーツ大会等が開催され、市内外から多くの来訪者を誘客しています。

こうした大会等の主催者と飲食、特産品、宿泊等の事業者を結ぶことで、主催者と事業者だけでなく、来訪者の利便性や会場の魅力の向上にも寄与することを目指します。

【事業展開イメージ】

●ゴルフ場支配人を中心としたゴルフツーリズム推進組織の設立

- ・「ゴルフのまち」としての知名度向上に向けた取組
(パンフレットやホームページなどのPR ツールの作成)
- ・集客効果が見込まれるイベント等の開催
- ・新たなゴルフ客の誘致やゴルフ愛好者の育成に向けた取組
- ・先進事例の視察や講師を招いての勉強会
- ・インバウンドに向けた段階的取組や効果的手法の検討

●各ゴルフ場と特産品事業者や旅行会社等が連携した勉強会や意見交換会の開催

- ・東広島の美味しい食・特産品との効果的な組み合わせの検討
- ・西条酒蔵通りや宮島、原爆ドーム等の観光資源と連携したツアー等の検討
- ・ツアーの誘致や効果的なプロモーション手法の検討
- ・ふるさと納税の返礼品として「ゴルフ&宿泊セット」の提供
- ・効果的なスタンプラリーの検討
- ・企業対抗ゴルフ大会やマナー研修など、企業ニーズに応じた新たな取組の検討

●イベント会場で特産品販売等の意欲がある事業者とのマッチングの検討

●観光関連団体が知りたいスポーツイベント情報の伝達方法（メールマガジン等）の検討 など

事業②

スポーツイベントの開催・誘致

本市には、多くの方がスポーツを目的に訪れていますが、滞在時間が短く、日帰りでの来訪が中心になっています。

スポーツに関わるイベントの拡充や、大会や合宿の開催は、飲食やお土産（特産品）購入、宿泊等の機会を生み、経済波及効果の創出に寄与している実績があるため、観光資源とスポーツの魅力をかけ合わせ、本市を訪れる人に「スポーツ＋α」の魅力を提供します。

ゴルフについては、プロツアーの誘致を始め、全国的にゴルフ人口の減少傾向が続く中、ジュニア層や若年層、女性層の開拓や新しいゴルフの楽しみ方につながるイベントなど、中長期的に本市の観光消費に寄与する仕組みづくりを検討します。

また、プロスポーツチーム等を活用した誘客効果の高いイベントや、市外から多くの集客がある大会、民間の斬新な発想によるユニークなスポーツイベント等について、より良い提案を支援する仕組みを構築することで、新たな魅力が創出できる環境を整えます。

仕組みの構築に向けては、スポーツ関連団体と観光関連団体のネットワーク化に向けて、市内特産品事業者等との連携や観光パンフレットの配布等を要件にすることを検討します。

併せて、イベントへの直接的な参加者（選手等）だけでなく、付き添いや応援、観戦者等の参加が多く見込まれる事業を優先的に支援することも検討します。

こうしたスポーツツーリズムに寄与する「観る」「する」スポーツの機会を増やすことで、交流人口の拡大につなげるとともに、地域経済の波及効果を高める仕組みづくりを行います。

【事業展開イメージ】

- 「ゴルフのまち」としての知名度向上に寄与するイベントの開催支援
（プロツアー、新たなゴルフ客の創造やゴルフの魅力を伝えるイベント等）
- スポーツツーリズムに寄与するイベント等を支援する補助制度の構築
- 上記の補助制度の選考を行うとともに、実施主体に助言を行う組織の設立 など

【新たな補助制度のイメージ】

目	的：スポーツツーリズムに資する大会・合宿・イベント等の開催を支援し、交流人口の拡大、地域経済への波及効果、本市の知名度向上、市民のスポーツ活動の活発化を目指す。
補 助 金 額	：30～100 万円程度（年間5件程度）
補 助 対 象 事 業	：①プロスポーツ等の試合・合宿の誘致（プロチーム又は日本トップリーグ連携機構加盟チーム） ②アマチュアスポーツの全日本代表の合宿の誘致（オリンピック・パラリンピックや国内の競技種目） ③アマチュアスポーツで県外から多くの参加が見込まれる大会（西日本大会以上） ④その他、スポーツを通じて市県外から多くの集客を見込まれるイベント等 ※合宿の場合は、事業期間中に市民との交流事業を実施すること。 ※原則として同一事業の場合は最大3年までとする。
補 助 の 要 件	：参加者や観戦者が一定の人数以上見込めること／本市にとって新規性があること 市内の飲食、特産品、宿泊の事業者と連携した取組のあること 市内の観光パンフレット等を配布すること など
選 考 方 法	：1～2月に募集。3月下旬に選考。4月以降に予算の範囲内で交付。
選 考 委 員（案）	：市内大学教授・東広島市体育協会・広島県障害者スポーツ協会・東広島市観光協会 東広島市スポーツ推進委員協議会・東広島商工連絡協議会・東広島市教育委員会
財 源	：東広島市スポーツ振興基金

事業③

スポーツと市民をつなぐ

「観るスポーツ」「するスポーツ」を軸にスポーツツーリズムを推進し、発展させていくにはスポーツを支える人材が不可欠です。

市民が「観るスポーツ」や「するスポーツ」に接し、楽しむ機会を提供することでスポーツツーリズムへの関心を高めるとともに、「支えるスポーツ」の機会の拡充を図り、市民のスポーツに対する意識向上がボランティア参画へつながるように取り組みます。

特に平成 30（2018）～32（2020）年度に行われるメキシコ選手団の事前合宿は、世界トップレベルのスポーツ選手と交流できる貴重な機会であり、市民との多様な交流事業の展開を図ります。

また、スポーツ推進委員によるスポーツイベントの協力をはじめ、平成 30（2018）年度から育成する「コミュニティ健康運動パートナー」による地域住民のスポーツイベント参加の働きかけ等を行い、市民のスポーツ活動の活発化を図ります。

【事業展開イメージ】

- 小・中学校のゴルフ場への遠足や社会見学等の受入
- ゴルフ場の魅力を知ってもらうイベントの開催（花見・ウォーキング等）
- 東京オリンピックで事前合宿を行うメキシコ選手団との交流
- コミュニティ健康運動パートナーによるスポーツイベント参加への働きかけ
- トップアスリートによるスポーツ教室の開催 など



事業④

段階的なプロモーション

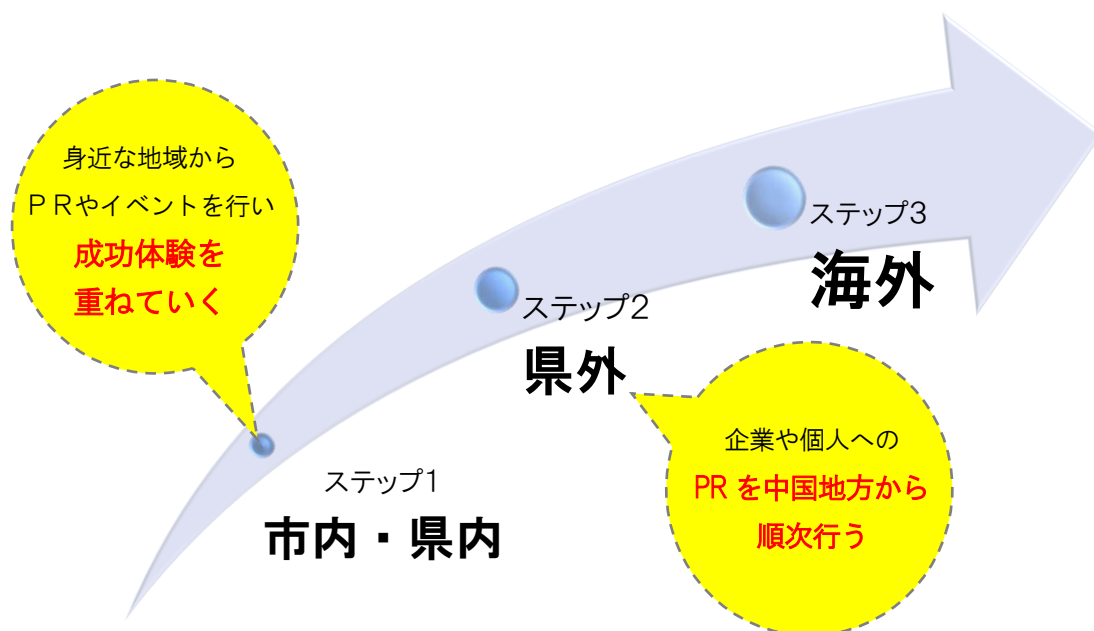
スポーツツーリズムのターゲットは、市内、県内、国内、そして海外と多岐に渡ります。

本市では、持続的にスポーツツーリズムを進めていくために、第一段階として市内・県内へのPRを重点的に進めます。

身近な地域から段階的なプロモーションやイベント実施を行っていくことで成功体験を重ね、将来の全国や海外へのPRに向けて、地盤を固めていきます。

特に海外については、国内のゴルフ人口が減少傾向にある中で、インバウンドの誘致は必須であり、大きな可能性を秘めていますが、ゴルフ場をはじめ宿泊施設など、その受入体制が整っている状況にはありません。

海外へのPR、訪日外国人観光客の誘致に向けて、早急に勉強会を開始し、先進的に取り組むゴルフ場等に必要な支援を行っていきます。



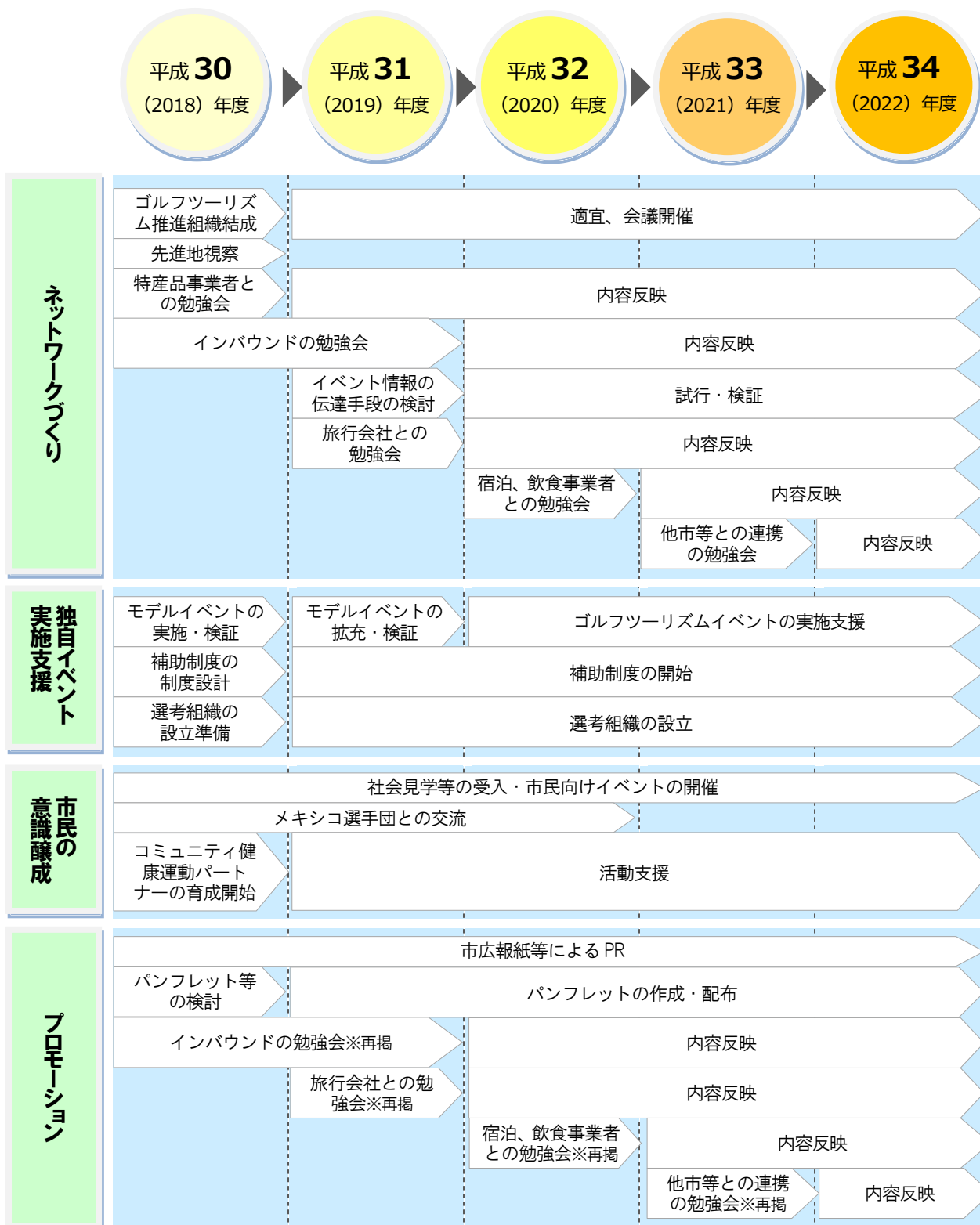
【事業展開イメージ】

- 市の広報紙やマスコミへの情報提供
- 道の駅等の来客数の多い施設へのパンフレット等の配置
- 県内・県外・海外への効果的なPRに向けた勉強会
- 近隣都市の観光資源との連携に向けた勉強会
- 北海道北広島市など冬場にゴルフができない地域と双方の往来を増やす仕組みの検討
- 宿泊施設等の受入体制強化に向けた勉強会
- ターゲットを呼び込む観光ツアーの企画に向けた勉強会
- インバウンド誘致に向けた勉強会
- インバウンドに先進的に取り組むゴルフ場等への支援制度の構築 など

第4章 スポーツツーリズム推進にあたってのロードマップ

今後の方向性を踏まえ、本市の主要なコンテンツである「ゴルフ」を柱に据え、ロードマップを示します。このロードマップや事業案は、状況に応じて見直し、取り組みを進めます。

1. 今後5年のロードマップ



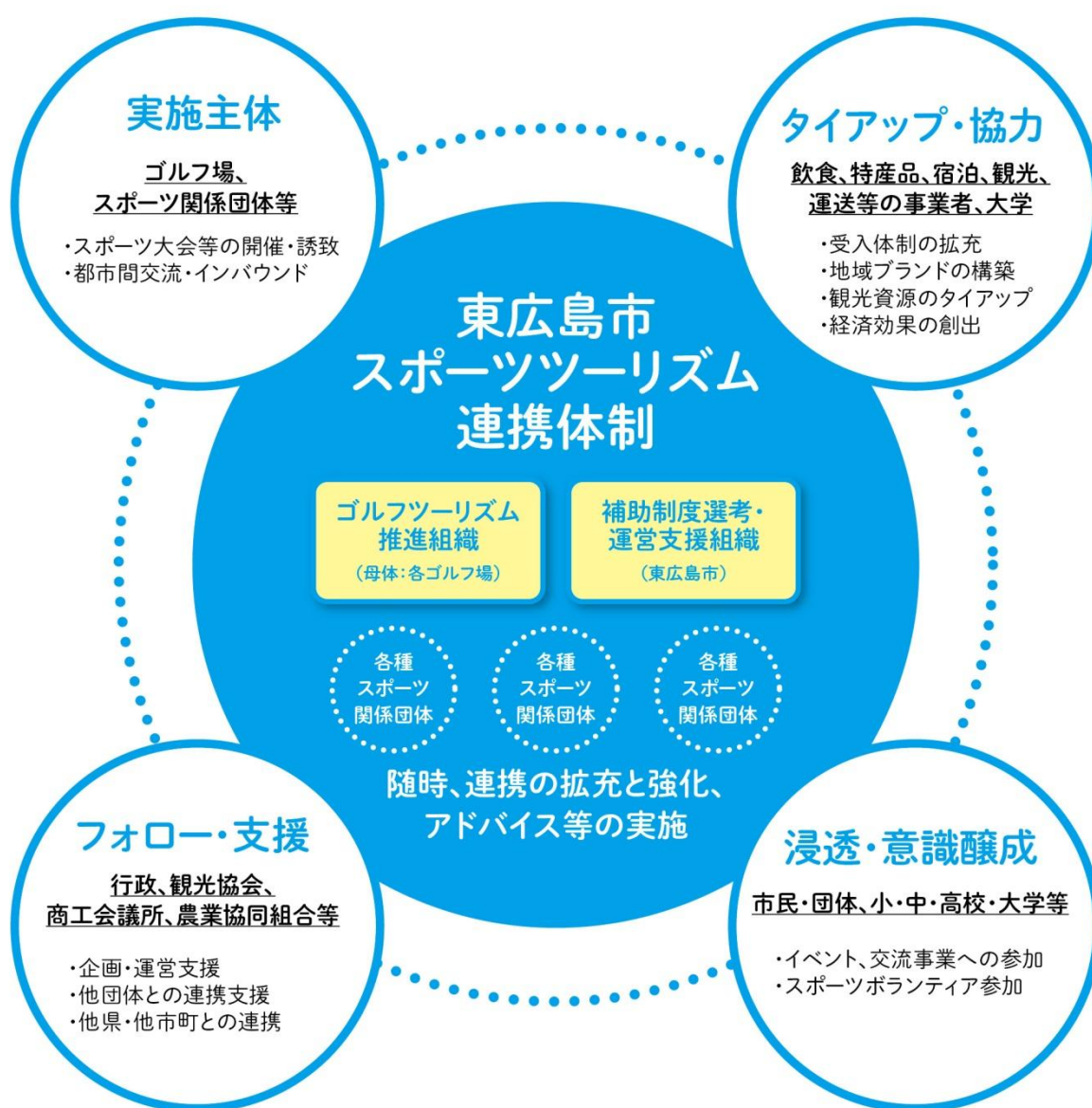
第5章 計画の推進に向けての連携体制

1. 協力団体との連携イメージ

スポーツツーリズムの推進に向けては、今まで希薄であったスポーツイベント等の実施主体と観光関連団体等との連携強化が必要であり、行政を中心にその橋渡しの役割を担うことが求められます。

また、市民等への浸透や意識醸成により、市内の「観る」「する」「支える」スポーツの振興を図ることも重要です。

今後は、ゴルフをはじめ、民間主導の意欲的なイベント等の支援を通して成功体験を重ね、連携のさらなる拡充を図ることを目指します。



東広島市スポーツツーリズム推進方針

平成 30（2018）年 2 月

東広島市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
